

vol.6
議会広報委員が市内の
注目スポットを取材!!
議員ふじさん歩
今回の取材担当:井上 保



往時の趣を伝える
身延道



旧富士川町で、東西を結ぶ東海道と、南北に駿州と甲州を結ぶ身延道が交わっています。身延道は、戦国時代甲斐の武田氏、駿河の今川氏が軍事上の要請から交通路の整備を進め、その後、江戸時代には富士川の舟運を利用した年貢米の輸送、さらに身延山への参詣などで往来が盛んとなりました。

身延道は富士川に沿ってサービスエリアの縁を北に、川を眼下に見ながら木島、松野そして芝川を抜け、山梨県万沢で興津からの道と一緒に身延町に向かいます。道沿いに設けられた道標や題目塔、常夜燈などが今も残り、沿道の町並みは往時の趣を今に伝えています。ハイキングにお勧めです。

特集

9月定例会

常任委員会の審査等

一般質問一覧

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ

議会にひと言

将来の持続可能な地域づくりの基盤整備を進めるためにも、富士市議会には、市民と行政をつなぎ、富士市の未来に向けた目標達成に引き続き御尽力されることを期待しています。



同で小規模事業者を対象とした経営発達支援計画の策定と実効性ある事業の検討を進めているところですが、団塊の世代の高齢化に伴う事業所の減少を極力抑え、成長を目指す地元企業の役に立つべく、さらなる対応を図ってまいります。

今回は、日ごろから富士市の商工業の改善や発展のために活動されている、富士商工会議所の牧田一郎会頭にインタビューを行い、貴重な御意見を伺いました。
(インタビュアー：佐野智昭)

富士商工会議所では、中小・小規模事業者に対する「事業継承・創業を通じた成長持続」、「有効なIT技術の活用による生産性の向上」を支援し、特に小規模事業者の経営力強化に向けた積極的な事業展開に努めているところです。現在、行政と共

議会 vol.6
ヒストリー

紆余曲折を経て整備された
新幹線新富士駅 (昭和63年)



新幹線駅の設置の動きは、昭和39年の東海道新幹線開通から約7年後の昭和46年に町内会連合会理事会で提起されたことに端を発し、市、県を超え、周辺市町村に広がりました。

かつて、各所の反対でJR富士駅への新幹線駅設置が実現できなかった苦い経験を払拭するため、富士市議会も市民と一丸となって新幹線駅の設置を後押ししようと、昭和48年に「東海道新幹線富士停車駅設置に関する決議」を採択、機運が高まった昭和59年には「東海道新幹線富士駅設置促進特別委員会」を設置しました。

市費約64億円、企業、個人からの寄附約35億円を投じた総事業費132億円余の悲願の大事業は、昭和63年3月13日の新富士駅開業により完了しました。

(担当：吉川隆之)

編集後記

9月定例会にて平成30年度の各会計決算審査を行いました。今回の特集では、市の会計を家計に見立ててわかりやすく紹介しております。また、各決算委員会で行った事業評価も掲載しました。

これからも、富士市民の声を議会に反映し、住みやすい富士市にしていきます。その様子を市民の皆様へわかりやすくお伝えできるように議会広報委員会でも市民の目線で、「ふじ市議会だより」を作成してまいります。

次回定例会予告

11月定例会は、11月27日から12月12日まで開催される予定です。

(長谷川祐司)

発行
富士市議会
編集
議会広報委員会
静岡県富士市永田町1丁目100番地
☎ 0545 (55) 2878 (直通)
ウェブサイト
富士市議会 検索